

まふ - さっと MAFF-SAT 活動記録 (農林水産省サポート・アドバイス・チーム)



MAFF-SATとは

MAFF-SAT（農林水産省サポート・アドバイス・チーム）は、農地・農業用施設（ため池、頭首工、水路、揚水機、道路、橋梁等）が被災した際、被災地に農林水産省の職員を派遣し、迅速な被害状況の把握等や早期復旧に向けた支援を行う仕組みです。

支援の内容

災害の発生

都道府県・市町村等からの要請により派遣を行うほか、災害の規模（深刻さ、広さ）等によりプッシュ型で派遣を行います。

①初期情報収集

①今後の支援の必要性を判断するため、被災の範囲・規模、応急対策の必要性、被災自治体の要望等に関する基本情報の把握を行います。

②緊急調査

②農地・農業用施設の被災状況（箇所、農機）の把握や被害額の算出等に関する支援を行います。

③技術支援

③被災した農地・農業用施設の応急対策の実施や災害復旧計画の工法の検討等に関する技術的な支援を行います。

本格復旧着手

今回の「消費者の部屋」展示では、MAFF-SAT(まふ-さっと)の活動についてパネル展示をご紹介します。

開催日時：令和6年9月17日(火)～10月11日(金) 8時30分～17時
(土・日・祝日を除きます。初日は13時から、最終日は正午までとなります。)

開催場所：近畿農政局庁舎 1階「消費者の部屋」展示コーナー
京都市上京区西洞院通り下長者町下る丁子風呂町
市営地下鉄「丸太町」駅下車 徒歩約15分（京都府庁西隣り）

【問い合わせ先】

(消費者の部屋について)
消費・安全部消費生活課
担当者：千田、高橋
電話：075-414-9771 (直通)

(展示内容について)
農村振興部防災課
担当者：北谷
電話：075-414-9562(直通)

◆テーマ

まふ - さっと MAFF-SAT 活動記録 (農林水産省サポート・アドバイス・チーム)

◆展示期間

令和6年9月17日(火)

～10月11日(金)

◆展示場所

近畿農政局(京都農林水産総合庁舎)

1階「消費者の部屋」 展示コーナー



MAFF-SAT (農林水産省サポート・アドバイス・チーム)

MAFF-SATとは

MAFF-SAT (農林水産省サポート・アドバイス・チーム) は、農地・農業用施設 (ため池、頭首工、水路、揚水機、道路、橋梁等) が被災した際、被災地に**農林水産省の職員を派遣し、迅速な被害状況の把握等や早期復旧に向けた支援**を行う仕組みです。

支援の内容

災害の発生

都道府県・市町村等からの要請により派遣を行うほか、災害の規模 (深刻さ、広さ) 等により**プッシュ型で派遣**を行います。

① 初期情報収集

① 今後の支援の必要性を判断するため、被災の範囲・規模、応急対策の必要性、被災自治体の要望等に関する**基本情報の把握**を行います。

② 緊急概査

② 農地・農業用施設の**被災状況 (箇所、面積) の把握**や**被害額の算出**等に関する支援を行います。

③ 技術支援

③ 被災した農地・農業用施設の**応急対策の実施**や**災害復旧計画の工法の検討**等に関する技術的な支援を行います。

本格復旧着手

近畿農政局の派遣実績 (令和5年度)

令和5年度は近畿農政局管内において、MAFF-SATとして職員延べ117名を市町等に派遣し、災害復旧の支援を行いました。(京都府、兵庫県、奈良県、和歌山県の市町)

②緊急概査

ため池の現地調査



近畿農政局の職員が現地調査し、被災状況把握の支援を行います。

ドローンによる被災現場の撮影



ドローンによる撮影を行い、被災状況把握の支援を行います。

ドローンで撮影したデータを基に被害面積等を算出し、概算復旧金額算定の支援を行います。



③技術支援

打合せの状況

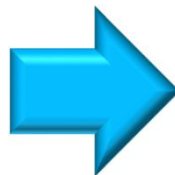


復旧計画の検討にあたり、技術的な支援を行います。研究機関（農研機構）と合同で調査を行うケースもあります。

近畿農政局保有の排水ポンプ車等を被災現場に貸出

緊急の場合、近畿農政局が保有管理している、災害応急用ポンプ、排水ポンプ車等を貸出しています。

令和5年5月7日～8日の豪雨によりため池の堤体が崩壊した。



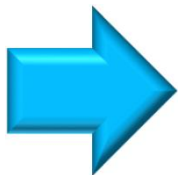
MAFF-SAT派遣により二次被害防止のため応急ポンプによる貯水位の低下作業を行った。（5月9日）



ため池の堤体は川や谷を横断し、土を盛り立てて造られる構造物です。堤体の上流から流れてくる水をせき止め、堤体と堤体上流の地山で囲まれた空間（貯水池）に水を貯めるという働きをします。

貯まった水が崩壊した堤体に作用し、二次被害を引き起こす危険性があります。ポンプ車を使って貯まった水を排水することで二次被害を防止しました。

応急工事として、ブルーシートを敷設した。
（5月11日）



被災部分に雨水がかかり、崩壊が大きくなる危険性があります。その一時的な対策として、ブルーシートを敷きました。

復旧状況（市による復旧工事が完了）



和歌山県橋本市長より
近畿農政局のポンプ車
の派遣に対して感謝状
を頂きました！



○ 【令和6年9月17日(火) ～ 10月11日(金)

近畿農政局 1階「消費者の部屋」

での展示の様子】

